

最新の設備が整った工場を視察する
園田智幸局長＝左（南国市十市）

高知労働局

働き方改革 実践企業訪問

かね岩海苔で意見交換



長時間労働の削減などに取り組む企業を広く地域で紹介しよう。そんな狙いを込めて、高知労働局の幹部らが10日、高知市池の「かね岩海苔」を訪ね、過重労働解消に向けた同社の工夫に耳を傾けた。

政府が進める「働き方改革」の一環として全国の労働局は、模範となる「ベストプラクティス企業」を選定。11月の「過労死等防止

啓発月間」に合わせ、訪問活動などを繰り広げている。

同社の従業員は女性を中心に97人で、このうち約75人は時間給の準社員。その中で昨年は、準社員の全員が年次有給休暇を100%取得したという。

また、繁忙期に始業を1時間早める「早出残業」はあっても、終業時刻以後は、残業をさせないなどの取り組みを進めている。

岩崎定之社長は「時代に合った働きやすい会社にならないと優秀な人材は集まらない。いい人材がいないと企業の発展はない」とその人がいないと会社が回らないとなると、経営上のリスクにもなる」と話した。

従業員らと意見交換した同局の園田智幸局長は「魅力ある職場づくりで人材を確保し、利益を上げて、さらによい職場環境になるといった好循環につなげ

てほしい」と話した。同局によると、昨年11月の過労死等防止啓発月間では県内55事業場を重点監督し、40事

業場で違法な時間外労働や賃金不払い残業などがあったという。

（浅田美由紀）